

**第1学年外国語科学習指導案**  
**単元名 Round 2**  
**Unit 6 Cheer up, Tina**

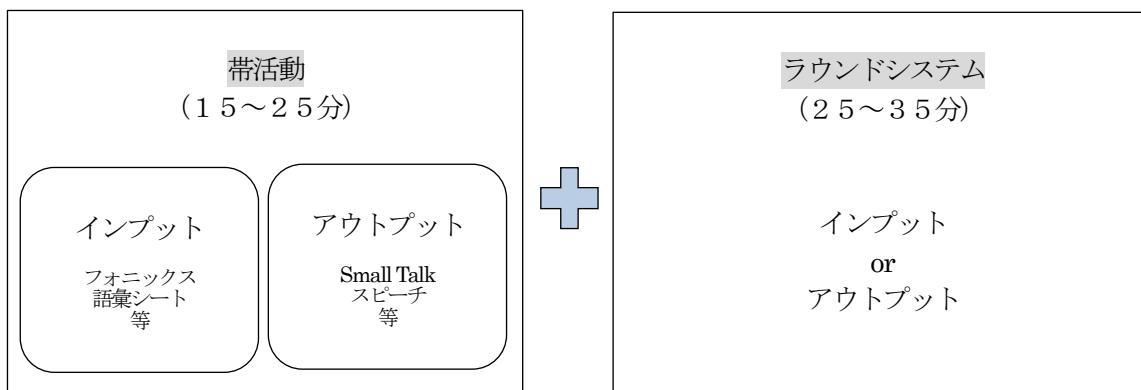
日 時 令和6年 6月24日(月) 第6校時  
 学 年 第1学年 8名(男子5名 女子3名)  
 指導者 井上 知三

## 1 ラウンドシステムについて

本校では、最初の単元から最後の単元までを通して1年間に5回扱う5ラウンドシステムを実施している。単元ごと、学期ごと、学年ごとで区切るのではなく、教科書を1年間のスパンで、中学校学習指導要領外国語編(平成29年)「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」それぞれの目標とする英語の力を3年間をかけて身につけさせる。このラウンドシステムにより、中学校修了時「自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように、工夫しながら伝え合うことができる」生徒の育成を目指す。

Round	内 容	実施時期
Round 1	リスニングによる内容理解(ピクチャー並べ替え) 毎時間本文を10回程度聞く。	4月～ 5月
Round 2	内容理解した本文での音・文字の一致(英文並べ替え) 毎時間本文を10回程度聞く。	6月～ 7月
Round 3	音読(音声完全コピー) 毎時間本文を10回程度音読する。	7月～10月
Round 4	穴あき音読(A動詞抜き Bフレーズ並べ替え Cフレーズ抜き D文頭のみ) 内容を考えながら声に出す。文構造に気づかせる。	10月～12月
Round 5	リテリング(自分のことばでストーリーを伝える) ペアやグループで行い、友だちの表現から学び自分の表現を高める。	1月～ 2月

1時間の授業は、帯活動とラウンドシステムの2つで構成する。帯活動では、フォニックスや語彙などのインプット活動、Small Talkやスピーチなどの、既習の表現を活用して行うアウトプット活動を行う。



## 2 本ラウンド(Round 2)について

### (1)目標

本ラウンドでは、音声と文字を一致させることができねらいである。ストーリーの音声を聞きながら、英文を並べ替える活動を通して、音声から文字を、文字から音声を想起できるようにさせる。

## (2)生徒観

6月に行ったアンケートでは、8名のうち6名の生徒が「英語の勉強は好きです。」「英語の授業以外で英語を使ってみたいと思います。」「ALTの先生に英語で話しかけられたら、英語で答えようとしています。」に肯定的に答えている。また8名の生徒全員が「英語の授業はよく分かります。」に肯定的に答えている。実際に、教師と廊下で出会ったときには自然に英語でいさつしたり会話したりする。

授業においては、帯活動、ラウンド活動ともに概ね意欲的に取り組んでいる。Small Talkの振り返りでは、言いたくても言えなかつた表現等について次々と質問してくる。前ラウンドのRound 1では、なりきりスピーキングで、特徴的な音声表現を楽しみながら、音声を真似して声に出していた。このラウンド中に行った1学期中間試験の平均は89.5点であった。

音声と文字を一致させるねらいのRound 2を行うにあたって、単語を読む場合の母音字の異なる読み方や2文字の子音字などのフォニックスの知識はある程度身についている。英文を読むことについては、聞いて慣れ親しんだ表現を読むという小学校での活動以来行っていない。生徒が英文を目にするのは、教科書のLet's Be Friends、各ユニットの扉ページか教師の板書に限られている状態である。

## (3)指導観

### 【帯活動】

教科書のLet's Be Friends!を使って、アルファベットや日常的に使える表現等の復習を行う。音と文字の一致を図るためのフォニックス指導では、リズムに合わせて楽しく慣れさせる。語彙指導では、25の語についてイラスト・文字を表裏に印刷したシートを持たせ、イラストを見て発音させる。できるだけ日本語訳を介さずに語の持つイメージをインプットさせたい。Small Talkでは、1文で答えて終わりではなく、2文で答える、相づち、聞き返す、など会話を続けたり深めたりする方法を指導しながら、英語を使ってお互いのことをよりよく知り合えて楽しいという印象を持たせたい。

### 【ラウンド】

①ストーリーを思い出す。②英文を見て、自分で音声化する。③音声を聞いて聞こえた順に英文を並べ替える。④ペアや全体で確認し、その後テキストを見て自分で確かめる。⑤音声を聞きながらテキストを見る。のステップで行う。ストーリーを10回程度通して聞くことを目安として進める。できるだけ回数多く聞かせたいので、1人でも「もう1回聞きたい。」と言えば繰り返す。音と文字の知識を定着させるためには、②英文を見て、自分で音声化する場面が大切だと考える。実際に音声を聞いた時の気づきを促したい。

## 3 本時の展開

### (1) 本時の目標

(帯活動) 相手の質間に2文で答えることができる。[思考・判断・表現]

(ラウンド) 音声と文字を一致させることができる。[知識・技能]

### (2) 準備物

電子黒板、デジタル教科書、CD、ワークシート

(3) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て）	評価規準[観点] (評価方法)
15	<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 Let's Be Friends!等を使用し、語彙や表現の復習をする。</p> <p>5 3 Small Talk</p>	<p>◇テンポよく進める。</p> <p>◇教師が数名の生徒と対話し、内容のイメージを持たせる。 ◆使えそうな語彙をいくつか示す。</p> <p>◇会話を続けるために、2文で答える、相づちを打つ、相手に質問することを意識させる。</p> <p>◇1分間の会話を行った後、難しかったところをシェアする。どのように言えば良いか全体で考える。</p> <p>◇ペアを変えてもう一度会話させる。</p>	<p>○相手の質問に2文で答えることができる。 【思考・判断・表現】 (行動観察)</p>
15	<p>4 本時のめあてを確認する。</p> <p>【めあて】 音声と文字を一致させることができる。</p> <p>5 ストーリーを思い出す。</p> <p>予想される生徒の反応  T: Who's Tina's brother?  S: Nick.  T: Yes. Nick is her brother.  Does she like singing and dancing?  S: Yes.  T: Yes, she does. She likes singing and dancing.  What happens in this picture?  S: Ms. Rios is angry. "A soccer ball, please"  S: Where's Tina?  S: Bed.  T: Yes. She's in bed.</p>	<p>◇10回程度聞くうちに、英文並べ替えができるれば良いことを伝える。</p> <p>◇ピクチャーカードを見ながら、T←Ssのインタラクションを通してストーリーを思い出させる。</p>	
20	6 英文の読み方を推測する。	<p>◇ワークシートを配り、自分の頭で音声化させる。</p> <p>◇語の発音を質問してきた生徒には、文字を示しながら聞かせる。</p>	

			○ストーリーを10回程度聞いて、英文を並べ替えることができる。 【知識・技能】(後日ペーパーテスト)
25	7 英文並べ替えをする。音声を聞き、聞こえた順番にワークシートに数字を書き入れる。	<p>◆机上を整理させ、ワークシートに取り組ませる。</p> <p>◇目で文字を追いながら音声を聞くようにさせる。</p> <p>◆指で文頭を示させたり、文字を追つたりしながら聞かせる。</p> <p>◇途中でついていけなくなる生徒もいると思われるが、10回程度繰り返し聞かせるうちにワークシートを完成させていく。全て数字を書き入れられた生徒も、英文を順に目で追いながら確認するよう伝える。</p>	
	8 ペア・全体で確認をする。	◇ペアでお互いの順番をシェアし、教科書で確認させる。その後全体で確認する。	
45	9 本時の振り返りをする。	◇聞き方の工夫や、コツなどを発見した生徒がいれば、シェアさせる。	
50	10 あいさつをする。		

#### (4) 板書計画

